

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の決まった方は来所しているが、以前に比べ減っている。入居者の平均年齢が90歳と高齢化し、「いっても話のできる人がすくない」と地区の住民との交流の中で話を聞いた。	日々の生活の中で一瞬でも様々な心地よい刺激を受けたい。	生活リズムの見直しを行い、上宿のボランティアが来てくれる時間帯の調整を行い、利用者・職員・来訪者が一緒に楽しめる時間を作る。休止状態だったハーモニカボランティアの再開、人形劇ボランティアを月1回お願いして楽しみの共感が出来る一時を作る	12ヶ月
2	26	利用者の状態が日々変化している中で、個々にあったケアプランの見直しが必要。	利用者の思いや希望、状態に沿った定期的なケアプランの作成。	日々の生活の中から利用者の思いや希望をくみ取り、定期的にケアプランについて話し合う時間を持つ。また家族の思いもくみ取りながら利用者の状態に沿って定期的にケアプランの見直しをする	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。